



5月号

三木高大

# 自治会新聞

発行 行 三木市高齢者大学学生自治会  
 発行責任者 自治会会長 立石 勲  
 編集担当者 3年3班 小池 正 憲  
 3年5班 中西 富 美  
 発行日 平成27年5月19日

No.111

## 平成27年度 自治会総会の報告と新役員の紹介

去る4月9日(木)入学式に引き続き平成27年度自治会総会が本校体育館で開催されました。

学生199名が参加、常深豊子副会長(3年5班)の司会により、議長に菅野富美江さん(3年5班)を選出、円滑な進行により1件の要望を付して、各議案・役員とも全会一致で承認されました。



挨拶をする立石会長

1号議案	平成26年度活動報告	統括総務	鳥羽 聡 (4年1班)
	平成26年度会計決算報告	統括会計	宝来 明正 (4年2班)
	会計監査報告	監事	宮脇 征史 (4年5班)
	平成26年度役員退任挨拶	会長	三木 清 (4年4班)
2号議案	平成27年度新役員の紹介と承認		
	平成27年度新正副班長の紹介		
3号議案	平成27年度活動計画(案)	統括総務	山口 仁朗 (3年3班)
	平成27年度会計予算(案)	統括会計	脇田 悦子 (3年3班)
	自治会規約改訂について	会長	立石 勲 (3年1班)

最後に立石新会長より「学生の皆さんが、楽しく、充実した高大生活を日々送れるよう自治会活動をきめ細かく心の通ったものにしていきたい」という挨拶があり、総会は滞りなく終了いたしました。



議長の菅野さん

## 平成27年度自治会役員

会長	立石 勲	統括総務	山口 仁朗	統括会計	脇田 悦子
----	------	------	-------	------	-------

	1年	2年	3年	4年
副会長	小林 敏之	金丸 正	漁 晴毅	岩波 勉
副会長	若林 昭子	戸田 幸子	常深 豊子	川口みち子
総務	西畑 種嗣	板東 和己	草間 透	吉田 建
会計	岡本 直美	藤原 秋子	川崎 伸一	後藤 幸代
監事	重光 仁	渡邊 昶彦	早稻田瑞夫	宮脇 征史

副会長 3年2班 漁 晴毅

## 高齢者大学に入学して

三木市に居住して丸26年が経ち、本格的な地域活動にデビューして3年になります。老人会活動やグラウンド・ゴルフなど地域との関わりの中で、良き諸先輩方に恵まれ充実した日々を送っています。この度、更に地域との繋がりを深める為に高齢者大学に入学することにしました。

日頃より三木市の郷土史に関心を持っていましたが、会社勤めの間はなかなか学ぶ機会もなく過ごして来ました。昨年、NHKの大河ドラマにて三木市が取り上げられてからは、法界寺の三木合戦絵解きや付城跡の見学などにも参加し、よりその気持ちを強く持つようになりました。

今回、縁あって入学しましたので、地域活動に必要な教養を習得するとともに、郷土史等の文化に関する知識を深めたいと思います。そして、単に居住していた市民から、喜び・誇りを持って地域に根付く市民でありたいと考えております。

1年3班 西畑 種嗣

### 4月の教養講座から

## 「ふるさとに生きる」

ラジオパーソナリティー 谷 五郎 様

新入生にとっては初めての講座でしたが、印象はどうだったでしょうか。

教養講座は、その道のプロから生きた講義を聴かせていただけなので、これからの4年間で得るものは多いと思います。頑張ってください。

さて、軽妙な語り口の中に、含蓄のある話題を並べ、しかもユーモアを交えながらの講話は、これぞプロ、との思いを新たにしました。

講師曰く、「ふるさとに生きる」とは？ それは、その地域の中に溶け込み、お互いが支え/支えられる関係を築くことによって、他人から支援を受けた時の感謝の心、逆に他人を思いやった時の心の充足感を得るために活動することだ。それが引いては、実り多い感動のある人生に繋がっていくのだと。あるいは、認知症の母を娘だけでなく地域全体で支えあうことによって、住民自身にも笑顔や満足感が得られるのではないかと。

戦後70年、この間、日本は平和を謳歌し、目覚ましい発展を遂げたが、一方で何か大切なものをどこかで忘れてきたのではないかと思う今日この頃だが、「ふるさと」(地域)に「生きる」(支えあって生き活きと活動する)ことが、再び無くしたものを找回するための一つの方法ではと思うのは小生一人であろうか？あなたは、「ふるさとに生きる」ために、これから何をしますか？次回の講話も期待しています。

3年4班 川崎 伸一



## 専門講座だより

## 文化学科「古典」

私事で恐縮ですが、理系畑を歩んできた者にとって、おおよそ古典と言うものとは無縁でありました。ところが2年生になって級友の勧めで古典学科を専攻することになりました。

平成26年度は「源氏物語」とのこと。源氏物語の原文はおろか、訳文も読んだことのない私は恐る恐る研修室3に入り第1回目の講義を受けました。講師は兵庫歴史研究会会長の阪本信子先生。ユニークな口調と独特な切り口の講義で、すっかり虜になってしまいました。第1帖の桐壺から第54帖の夢浮舟まで、駆け足の講義でしたがおおよそのあらすじは分かったつもりです。

3月には講座の総仕上げとして、平安時代の文化財が多く伝えられている宇治平等院と、復元模型や映像で源氏物語と平安時代の文化に親しめる「源氏物語ミュージアム」そして京都御所の東に在り、この物語を執筆した紫式部邸宅跡に建立されたとされるろざんじ廬山寺を訪れ研修をしました。

長年本校で講義頂いた阪本先生は残念ながらこの3月で勇退され、平成27年度からは新たに黒田久美先生による「源氏物語」が始まります。

3年1班 池町 敏彦

## 学年通信（2年生）

去る3月6日、三木総合防災公園において、1年生最後の全体親睦会（グラウンド・ゴルフ大会）を開催し、参加者43名の班対抗戦で上位5名の合計得点（少数得点が上位）で競いました。

各班は優勝を目指して、こっそり練習したもようです。試合後は協同学苑にて楽しく昼食会を行いました。

昨年の春季スポーツデーはビリでしたが2年になった今年は優勝を狙っています。私達は、これまで各行事の参加率が悪く自治会役員の皆さんには迷惑をかけてきました。

しかし行事を重ねていくうちに徐々に団結心が芽生え、学年集会で新年度のスローガンを「一つになろう」と決めました。

「一致団結しよう」 「一意専心でやろう」 「一心同体になろう」

一つの事を皆で一致団結し、脇目もふらず一意専心、一心同体、一丸となってやり遂げようと大きな声で全員が唱和し2年生のスタートを切りました。

2年1班 大西 美知子



2年生の皆さん

## クラブ紹介

### 園芸クラブ

高大の門を出て西へ100メートル余り歩くと、クラブの農園に到着。駐車場もトイレも学校に有るので安心して参加できます。

部員はOBを含めて23名、皆家族の様に付き合える楽しい集まりです。

野菜を植える間隔にもこだわる人から植えたら実るだろうと待つ人まで多彩です。

畑には長さ約20メートルの畝が32あり、知識と教養・文化を身に付けながら共同作業を行う畝が13で、残りの19畝を個人に割り当てています。

各人自慢の野菜を作るために、毎週水曜日の作業日以外にも農園へ来ることもあります。共同と個人の両方から得られる野菜は自宅での話の架け橋にもなります。もうすぐ夏野菜の収穫が始まります。特に畑でかぶりつくスイカは格別です。夏と秋に、高大の調理室で男も女も農園を卒業したOBも集まって「収穫祭」と銘打った調理・食事会を催します。料理を作る時に童心に戻ります。あなたも一緒に参加しませんか。

園芸クラブ部長 3年4班 徳田 均



スイカを頬張るクラブ員

### 囲碁クラブ

古代中国で発祥した囲碁は「生まれて一番頭を使った。勉強でこんなに頭を使うことはなかった」と関西棋院のプロの手ほどきを受けた中学生がいう優れた脳トレーニングで、私たち年代層の心身機能の維持には最適です。

毎週金曜日（第五を除く）の午後、「盤上の対話」と呼ばれる対局を中心に活動を行いますが、入門講座やクラブ所有の囲碁ソフトをモニターに映したネット対局による棋力の向上もはかれます。

上半期と下半期の成績により昇級・昇段ができ、年2回の囲碁大会を開催します。

「受験勉強で、子供たちが囲碁をする機会を閉ざされた」（三木市囲碁の会会員）の言葉もあるので、クラブ内の活動にとどまらず、三木市囲碁の会主催の大会参加と運営、囲碁の普及に積極的にかかわる年度にしたいと思います。

5月5日の別所公春まつり協賛囲碁大会を無事に終え、11月21日（土）の市民大会に臨みます。

まずは、研修室1をのぞきにきてください。楽しいですよ！！

囲碁クラブ部長 3年5班 斎藤 靖



囲碁大会の入賞者を囲んで